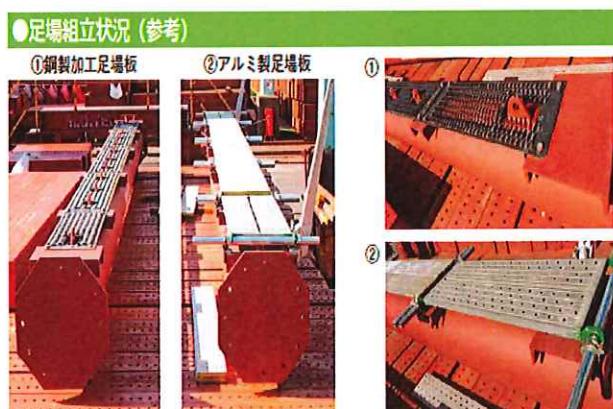
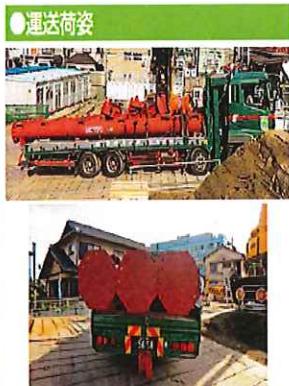


技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	<input checked="" type="checkbox"/> 安全・防災 <input type="checkbox"/> 維持管理 <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> ICT <input type="checkbox"/> 品質 (該当分類に○を付記)				
技術名称	円形鋼管切梁 Circular Strut	担当部署	福岡支店	特性商品課	
NETIS登録番号	KT-200003-A	担当者	国武 人志		
社名等	株式会社エムオーテック	電話番号	092-283-0380		
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機 従来のH鋼切梁工法だと作業スペース等に支障をきたすことケースが多く、各方面からその問題を解決できるような部材がないか問合せを受けていた。</p> <p>2. 技術の内容 一般的なH形鋼の切梁から、断面性能が一定である円形鋼管の切梁に変えた。</p> <p>3. 技術の効果 (1)中間(棚)杭を削減でき、支障のないスムーズな内部掘削や躯体構築が可能であるため、施工性の向上および工程の短縮が図れる。 (2)中間(棚)杭の鋼材費用や設置・撤去の手間が低減できるため、経済性の向上が図れる。 (3)方向によらず断面性能が一定で、同一面積では断面二次モーメントが最大、圧縮およびねじれに対して最大の抵抗を示し、風圧による抵抗が小さいため、品質の向上が図れる。</p> <p>4. 技術の適用範囲 -切梁を必要とする土留め支保工 -仮設材の賃料期間が長期となる仮設材を多く使用する大規模工事 -ロングスパンの切梁を数多く必要とする工事</p> <p>5. 活用実績 国の機関 0 件 (九州 0 件、九州以外 0 件) 自治体 0 件 (九州 0 件、九州以外 0 件) 民 間 0 件 (九州 0 件、九州以外 0 件)</p>				

6. 写真・図・表



作業スペースがひろびろ！



エムオーテック

Circular Strut
円形鋼管切梁



技術と環境の調和をめざす重抜設のパイオニア



株式会社 エムオーテック

明み井生 富吉太庄 佐村古旦様

